

## まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や  
楽しい話題、イベントなどの身近な  
情報をお待ちしています。

▷ 問い合わせ 広報情報係  
(☎223・3569)

## 秋の夕べに音色が響き渡る

10月7日・8日 秋の夜、コントラバスとピアノの夕べ in 芦屋釜の里

雨音が聞こえる中、芦屋釜の里の大茶室で、北崎千代佳さん(コントラバス)と大庭晴美さん(ピアノ)のコンサートが行われました。動物の謝肉祭より「象」や、「愛の讃歌」などが演奏され、来場者はうっとり聞きほれました。北崎さんが、「コントラバスの音色はアルツハイマー予防に良いと聞いたので、一家に一台コントラバスはどうでしょうか」という話に会場は笑いに包まれました。コンサートは盛況のうちに幕を閉じました。



## 芦屋<sup>さんびん</sup>製品の種がまかれました

10月25日 芦屋製品つくり方講座

芦屋製品づくりを目的とする講座がスタートしました。芦屋港に新たに作られる予定の直売施設で販売する商品、芦屋産品として全国展開できる商品を育てようという取り組みです。

初回の参加者は7組10人。全国で直売所の企画プロデュースや特産品開発を手掛けている講師の碓孝洋<sup>いかり</sup>さんから、「消費者が求めている分量はどのくらいか」「デザインやキャッチコピー次第で消費者への届き方が違う」など事例を交えて学んだ後、「ヒットする芦屋町の産品を作りたい」など、今後の産品開発への思いを発表しました。

この講座は、途中からの参加もできますので、興味のある人はふるって参加してください。

## 「障がい者だけ」「健常者だけ」でなく「障がい者も健常者も」

10月16日 ふうせんバレーボール体験研修

障がいのある人(障がい者)もない人も一緒に楽しめるようにと考案されたふうせんバレーボール。その体験研修(芦屋町ボランティア活動センター主催)が小体育館で行われ、14人が参加しました。6人1チームの中で3人が障がい者という構成で行われ、1人1回は必ずふうせんに触れてから相手コートに返さないと反則となるルールです。車いすを自分で動かさない人でも、ほかの選手が車いすを押して移動を手伝い、協力してプレーします。最高齢88歳で車いすに乗る体験をした参加者は、「誰でもできて楽しい。でも思ったより激しくて汗をかいた」と話していました。





## こんなにいっぱい実ったよ！

10月11日 稲作体験学習

稲作体験学習が行われ、町内3小学校の91人が体験しました。安全に鎌で稲を刈る方法を、JA北九青年部（芦屋支所）の人たちに教えてもらいながら、子どもたちは、一生懸命稲刈りをしていました。初めて稲を握り、鎌を引く作業に、「手が痛い」という子も。それでも夢中で稲を刈る子どもたちの目はキラキラしていました。自分たちで刈った稲をたくさん抱えて運ぶみんなの顔は笑顔いっぱいでした。



## 母校のために100着のジャージを寄贈

10月13日 部活動練習着寄贈式

日本モーターボート選手会から芦屋中学校へジャージなどが寄贈されました。芦屋中学校出身で日本モーターボート選手会福岡支部支部長の川上剛選手（写真：前列右から2番目）は「このジャージを贈ることで少しでも後輩たちの励みになればと思い寄贈させていただきました」と話していました。生徒は「このジャージを着て県大会に行けるようにがんばりたい」と笑顔で答えてくれました。



## ドキドキ、ワクワク♪家族で野外クッキング

10月8日 チャレンジキャンプ

「自然の中で思いっきり、のびのびと遊ぼう」をテーマにデイキャンプを行いました。参加者は町内の小学1～3年生の児童とその保護者27人。竹切りや火おこしなどに目を輝かせながら取り組んでいました。参加者からは「初めて竹切りをして上手にできた」、「子どもが自分でやってみたくて挑戦していて頼もしかった」などの感想がありました。

## きれいな海を守るために

10月10日 遠賀ロータリークラブ海岸清掃

「ロータリー奉仕デー 海の豊かさを未来の子どもたちへ」のテーマで、遠賀ロータリークラブの海岸清掃が行われました。風が強い中、海の豊かさをを守るために幅広い年齢層の皆さんが一生懸命ごみ拾いをしていました。ごみ拾いが終わった海岸はとてもきれいな砂浜を取り戻していました。

